

研修名 保護者支援・子育て支援

令和元年度 10月7日（月）9：45～12：15

講演 「保護者支援・子育て支援の役割と機能及び現状と課題」

「教育・保育施設等の特性を活かした支援」

講師 桜花学園大学 教授 小島 玲子 氏

1 講演要旨

研修の意味

保育士の努力や工夫を見直す。

- ・ REFRESH(リフレッシュ) RE+Fresh(新鮮)
- ・ REFRAME(リフレイム) RE+frame(枠)

1) 保護者支援と役割と機能

・周りの人とアクノレッジメント「認める 承認」の練習…隣の人と観察をしたことをそのまま（自分の価値観だけでなく）挨拶をする。

保護者と挨拶時にひと言伝えるだけで距離感がグッと縮まる。

- ・見るところを見返すと今までの支援を見つめ直す。
- ・それまでの見方を改める前に築かなかった価値を認める。

・保育所保育指針の改定により更に子育て家庭に対する支援の必要性が高まっている。

<保育支援・子育て支援目指す所>

- ・安定した親子関係
- ・保護者の養育力の向上

- *子どもの最善の利益を大切にすることを前提に。
- *親が楽をするのではない。

・保育所保育指針 2008年告示と2017年度告示の資料を見比べる。

・幼保連携認定こども園・教育要領 2017年告示の資料も見る。

スマホで調べれば情報が何でも出てくる時代なので、これからは保護者が自ら学んで保育をして子どもの成長を見守る。保護者にも主体的な保育を！

保育者は保護者のバックアップ体制をとる。

2) 保護者支援・子育て支援の現状と課題

保護者支援・子育て支援の法定化から15年たつと様々な動きがある。

・医療の進歩生殖医療を利用して生まれる子どもが増加しリスクはまだ分からない。（子どもが生まれる前から保護者が子どもに対する思い入れがある。）

・いろんなさまざまな家庭があるので、対応的なかわりが必要。

<保育者や園が受け持つ相談の守備範囲は？>

学校や市よりも園の方が身近で相談しやすい。地域で解決していた事が園に持ち込まれる。個人の意見が強くなっている。教育の質向上への要望。

Tune in	注意とからだを子どもに向けて
Talk more	子どもとたくさん話す
Take turns	子どもと交互に対話する

3) 教育・保育施設等の特性を活かした支援

・勤務園の特性をいかして、子ども支援をしていく。

保育参観→保育参加 保護者が主体的に学ぶ大切な場所。

・保護者の状況に配慮した**個別の支援**…その子に適した子育てのアドバイスを
する。保育施設は、継続的に支援を行うことができる。

保護者が支援されていると思わないところで支援している実例

- ・送迎時の会話・通信（園だより、学年だより、給食たより、保険たより）
- ・掲示物・環境設定
- ・お便り帳・ホワイトボード

発達の違いが見られる場！！

園内でしている努力や工夫を自覚化して、よりスキルアップを！

・日常の場面や活動を一緒にいて気持ちに共感する。

小さな積み重ねが大切

・勤務園では教育・保育施設としての園の特性を活かして保護者支援・子育て
支援にどんなことを行っているか。今後どんな支援を展開できそうか。勤務園
に帰って同僚と共有する。

2 感想

・久しぶりの研修で、まとめを任されたのですが、上手くまとまっていなくて
すみません。

・小島氏は、最初の挨拶や講演途中にアイスブレイクを入れ楽しい雰囲気があ
り眠気が襲われる事なく最後まで聞くことができました。

保護者支援では、親が楽をする支援ではなく、安定した親子関係・保護者の養
育の向上に繋げる事の大切さを考えさせられました。

本園の特性（自然がたくさんあり田んぼや畑の世話や収穫など）を活かし子ど
もにとっても保護者にとっても心地よい園にしていけるように努めていきたい
と思いました。

ありがとうございました。

（記録 吉美こども園 志馬 衣里 ）